

学校だより

『認めて、褒めて、励まして、信じて、待って、見届ける』



東門付近のサザンカ

☆☆☆ よいお年をお迎えください ☆☆☆

まもなく平成29年も終わろうとしています。4月の始業式では「挨拶・返事」「吉東小合言葉」「教室はまちがうところだ」という話をしました。これは子供たちだけでなく、教職員へのメッセージでもあります。子供たちはいろいろな場面においてこの言葉を意識して取り組み、運動会や吉田東小フェスティバル、持久走記録会などで意欲的に活動することができました。84名一人一人が輝いている場面感動するとともに、その成長した姿がとてうれしく思います。

さて、25日の冬休み前「全校集会」では、「勉強は何のためにするのか」「学習しても忘れてしまうのは何故?」について話す予定です。「何故学習が大切なのか」をみんな考え、繰り返し学習することや家庭学習の大切さについて伝えたいと思います。勉強の目的を考え交流することで、「進んで学ぶ子」になってほしいからです。勉強には覚えなければならないことがあります。でも、すぐに忘れてしまうのも事実。忘れないためには、繰り返し、口や手、耳など体のいろいろな部分を使う、分からない言葉や漢字はすぐに調べる習慣を付けることをお勧めします。国語辞典と仲良しになると、調べ学習が楽しくなります。子供たちの心の中に何か響くものがあり、冬休みの勉強に役立つことを期待しています。

ところで、各御家庭では年末の大掃除やお正月の準備など、忙しい時期を迎えます。夏休みのように、「全校宿題」として「手伝い・読書2冊以上・お料理」を出します。子供も進んで働き、みんなの役に立って褒められることで、家族の一員としての自覚や自信につながると思います。14日間の冬休みを有意義に過ごしていただければ幸いです。そして、1月9日(火)には84名全員が元気な笑顔で会えることを願っています。



それでは、すべての方が心新たに新年を迎えられることをお祈り申し上げ、校長の挨拶とさせていただきます。保護者の皆様方には今年1年いろいろとお世話になりました。ありがとうございました。

力走 持久走大会

11/29(水)保護者や地域の方の声援の中、校内持久走大会を実施しました。業間は10分間走を、試走も2回ほど行い本番に臨みました。学校の南東方向の農道をコースとし、折り返し地点をそれぞれに設定し、1・2年生は1000m、3・4年生は1500m、5・6年生は2000mという長い距離を走りました。一人一人が最後まで頑張って走り抜く姿に大きな声で声援を送り、さわやかな笑顔が心に残りました。心も身体もまた一段と成長したことでしょう。全員に記録証を授与しました。



1・2年生



3・4年生



5・6年生

3位までの入賞者 おめでとうございます(丸数字は学年)

	1位	2位	3位
低学年 男子の部	②上野 鉄太さん	②田上 俊哉さん	②上野 快斗さん
// 女子の部	②小室 美陽さん	①後藤 穂華さん	②館野 美咲さん
中学年 男子の部	④海老原気吹さん	④館野 央煌さん	③上野 拓夢さん
// 女子の部	④海賀 結月さん	④上野 心音さん	③菅原美奈海さん
高学年 男子の部	⑥海老原智陽さん	⑥菅原 拓海さん	⑥高橋 洋介さん
// 女子の部	⑥海老原耶々さん	⑥慶野 愛貴さん	⑥市岡 杏菜さん

地域に学ぶ

本校では、各教科や総合の時間において、学習に少しでもプラスとなるようにと、外部講師の方をお招きして、お話や御指導をいただいています。後期に御協力いただいた(予定の)講師の方を紹介します。



11/13(月)更正保護女性会の方たちと共に、1・2年生が美化活動を行いました。毎年、更正保護女性会からチューリップの球根を100球もいただいています。ありがとうございます。球根や苗の植え方を教わりながら、丁寧に植えました。3～6年生は道路沿いの花壇に、苗や球根を植えました。

磯部にある養心館館長で、剣道教士七段の荒井一美さんです。教科書に載っている元南河内村長で、養心館の初代館長であった岩瀬銚太郎さんのお孫さんにあたります。



12/6(水)4年生の社会科の時間には、銚太郎さんの願いや剣道を通じて学んだことなどを話してくださいました。



磯部在住、小山市で事務所を開いている一級建築士の慶野正司さんです。2/6(火)6年生の総合の時間に、仕事と生き方について話して下さる予定です。設計した家の模型を見せてくださり、設計した建物をパソコンで説明してくださいます。また夢をつかむにはどうしたらよいかなども、話してくださいます。総合で学習している「未来の自分を考えよう」での調べ学習や自分の将来について考えることなどにつなげていきます。

11/16(木)5・6年生が「薬物乱用防止講座」を受けました。本校では、隔年で実施しているものです。栃木県警察本部の2名の方から、DVD視聴やクイズなどを通して、「薬物乱用」の恐ろしさを学びま



した。3人の代表者は、しっかりと自分の考えを発表することができました。立派でした。

学校のすぐ隣で学習塾を経営している塩生良江さんと早瀬恵美子さんです。12/4・5(月)(火)3・4年生を対象にそろばん教室を行いました。3年生は、位取りや指使い、簡単な足し算を、4年生は、億や兆の単位の数や小数の足し算や引き算などを教えていただきました。3年生は初めてそろばんに触れる子供も多く、一生懸命に取り組んでいました。





受賞おめでとうございます



◎JA共済県下小中学生書道コンクール
条幅の部

佳作 3年 佐藤 初華さん



◎下野市文化財絵画展

教育長賞 2年 關 洸太郎さん

優良賞 5年 田上 愛瑠さん

// 6年 横島 陽平さん

◎大正大学全国書道展

東京都知事賞 5年 泉田 絢音さん

◎下野教育書道展

毛筆の部

金賞 5年 伊澤 凜さん

3年 上野 明音さん

銀賞 3年 関口 実来さん

奨励賞 2年 小室 美陽さん

// 3年 稲見 俊星さん

// 4年 印南 輝さん

// // 上野 心音さん

// 5年 泉田 絢音さん

// 6年 小室 碧大さん

// // 海老原 耶々さん

硬筆の部

奨励賞 1年 添野 蒼介さん

// 2年 小室 美陽さん

// // 伊澤 りこさん

◎小学生人権書道コンテスト

優秀賞 6年 小室 碧大さん

◎国際交流図画コンクール

優秀賞 2年 大森 昊太さん

◎文化財絵画展

教育長賞 2年 關洸太郎さん



できた「アシモ」くん!

11/20(月)の放課後、学習相談の時間にホンダ「ダンボールクラフト」を行いました。本田技研の社会活動推進センターより10名の講師が来校し、1~6年生の46名の希望者と共に活動しました。難しいところもありましたが、講師の方々



による御指導のおかげで「アシモ」くん完成。準備や御指導に感謝いたします。

きれいに洗えたかな 私の手?



11/21(火)3・4年生が「感染症予防講義」を受けました。昨年は全学年が実施しました。「栃木地域感染制御コンソーティアム」に所属する医療従事者2名より、「手洗い」の大切さを教えていただき、さっそく、正しい「手洗い」を実践しました。風邪やインフルエンザなどの流行を防ぐ、第一歩です。



☆☆ 特別支援教育って? No7 ☆☆

「困った子」は、子ども自身が「困っている子」

11/29(水)にPTA研修会を開きました。下野市教育委員会 学校教育課 白石孝子先生の講話「だれにでもやさしい特別支援教育」を紹介します。

見方を変えると関わりが変わります。「行動の背景や本人の思いを考えてみる。」これが、特別支援教育の考え方です。

発達障害は、脳の機能障害が原因と考えられ、状態は人それぞれで、学習面や生活面で困難さが見られます。しかし、適切ななかかわりと支援によって困難さは軽減され、子どもはみんな成長するものです。逆に、子どもの理解不足による不適切なかかわり(大声でどなる、無理なことを強制する、周囲に人がいるところで叱責するなど)により、二次的な障害(友人関係がうまくいなくなる、自己評価・自尊心意欲の低下、自信喪失、反抗的な態度、不安、焦燥、不登校、神経症など)が現れることがあります。

子どもの正しい理解に努めた望ましい支援として、

- できて当たり前と思わず、認める。(褒める)
- 目標をスモールステップに分ける。
- 小さな成功体験を積ませる。 • 集団の中で恥ずかしい思いをさせない。
- うまくいっていることを見つけ勇気づける。
- 間違った行動を叱責するのではなく、正しい行動を教える。

などがあり、安心感を高めることで、自信ややる気が育ちます。



吉東小フェスティバルの感想



<児童の感想より>

- ・私はシンセサイザーを松本先生に教わりました。「ゲラゲラポー」や「勇気 100 %」などを弾いていただきました。特に気に入った曲は「ヒマワリの約束」です。シンセサイザーでいろいろな曲を弾けて、楽しかったです。そして、お琴を五味先生に教わりました。初めて弾いたら、きれいな音が出ました。5回以上弾いて、「さくら」がやっと弾けるようになりました。(3年 U・R)
- ・「英語」ではマシアス先生とゲームをやりました。1番楽しかったのは、名前を言ってボールを相手にパスするゲームです。来年も「英語」を選びたいです。「ボランティア感謝の会」では、手話を付けて「空より高く」を歌いました。ボランティアさんには、東日本大震災を思い出して泣いていた方もいました。来年も、この手話をやりたいと思いました。(4年 T・O)
- ・ぼくは「読み語り」を体験しました。始めに好きな本を1冊選び、読んで内容を理解しました。その後、A・B・C チームに分かれ、読んだ本の感想を伝えました。一番上手だった人が代表として、みんなの前で発表しました。「読み語り」で、読む力や説明力が少しついたかなと思いました。ボランティアの方たちとふれ合えて、充実していました。(5年 T・H)
- ・「ニュースポーツ」では、「ストラックアウト」「ペタンク」「室内ボーリング」の3つをやりました。特に難しかったのは、「ペタンク」です。黄色いボールに自分のボールを近づける競技です。自分のボールが遠くに行きすぎたり、逆に近すぎたり、なかなかこつをつかめませんでした。初めての吉東フェスは、楽しかったです。(6年 Y・Y)

<保護者の感想より>

- ・親子で楽しく体験でき、子供たちも積極的に活動していました。普段一緒にいられない父親も、楽しめたようです。ボランティアの方たちとふれ合うことも、新鮮でよかったです。地域とのつながりも広がったようです。
- ・「高齢者体験」をさせていただき、ボランティアの方に感謝いたします。高齢者は身体が重く、目や耳が不自由になることが分かり、優しくしなければと感じたようです。相手の立場で感じ、考えることができました。
- ・自分がやりたいことを選び、学び楽しむよい体験になりました。将来のためになることもありました。親の私たちも、知らないことを学ぶ機会となり、ありがたいです。
- ・学習発表会のような発表の場がないのは、残念でした。発表会なら祖父母も来て楽しめて、子供の成長も見られたと思います。
- ・体験学習の時間をもう少し長くする、休憩の時間をとるなど、余裕がほしいです。
- ・大勢の前でステージ発表することで、達成感やクラスとしてのまとまりを味わえると思います。人数制限のため、やりたいことができなかった子もいて、残念でした。

43名の保護者の方から、貴重な感想や御意見をいただきました。ありがとうございました。目的や内容、日程など、PTA運営委員会でも検討して、来年に生かしていきたいと思えます。

お知らせ：

「吉田東小 学校だより」はホームページでカラー版を御覧いただけます。学校行事や各学年の活動も 随時配信しております。御意見、御感想などありましたら御連絡ください。QRコードからもアクセスできます。



